

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

前期

科目No.	112	科目名	化学物質総合管理学特論5		サブネーム	食のリスク評価・管理の基礎		
連携機関名	日本国際生命科学協会	レベル	基礎		講義枠	木	講義時間	18:30 - 20:00
科目概要(300字)	食という複雑系メディアにおける、化学物質、生物のリスクアセスメント、リスク管理、リスクコミュニケーションの問題を取り上げる。食を取り巻くさまざまな状況、特殊な要因について理解を深め、食の分野のリスクアセスメントと管理を考える上で重要な問題を理解する。これら基礎事項は、後期の食の安全に係わるリスク管理事例研究(化学物質総合評価管理学事例研究2)(の受講を理解する上で有効である。							

サブタイトル	No	講義名	講義概要(150字)	講義日	教室	講師名	所属
食とリスクアナリシス	1	食品とリスクアナリシス	講座全体の内容を紹介し、シリーズに一貫した基本となるリスクアナリシスの枠組みを示す。食を取り巻く様々な状況、要因について概説、食品分野のリスクアセスメントの管理を考える上で重要な問題及び特殊性について解説する。	4月13日	共通講義棟 2号館 102教室	武居綾子	(有)イカルス・ジャパン
リスクアセスメント	2	リスクアセスメント(1)	前回の講義を踏まえ、なぜ、食の安全を確保するためにリスクアナリシスの概念の導入が求められているかを検討する。さらに、1983年に米国で体系化され、その後コーデックスのなかにも取り入れられたリスクアセスメントの枠組みとリスクアセスメントに適用する科学的データと手法を紹介する。	4月20日			
	3	リスクアセスメント(2)	前回到続き、リスクアセスメントに適用する科学的データと手法を紹介するとともに、リスクを科学的データに基づいて評価することの意義と難しさを考える。	4月27日			
	4	有害性評価と確率論	リスクアセスメントに適用する科学的データに要求される「因果律」の証明とその確率的側面について、身近な例を用いて説明する。	5月11日		鈴木勝士	日本獣医畜産大学
国際的枠組み	5	食品をめぐる国際的枠組みとわが国の対応(1)	WTOの設立、それに伴うSPS協定により、コーデックスはリスクアナリシスを背景とした食品の国際標準規格として重要となった。コーデックスの枠組みと役割について概説する。食料の60%を海外からの輸入に依存するわが国の状況下での食のリスクアナリシスの意味を考える。	5月18日		福富文武	お茶の水女子大学 LWWC
	6	食品をめぐる国際的枠組みとわが国の対応(2)	前回の講義で概説した国際的枠組み、制度化、管理手法に対するわが国のこれまで取り組みを振り返り、これからのあり方を考える。	5月25日			
食習慣とリスク	7	食と生活習慣病	食は、生命を維持するためのエネルギー及び栄養素の補給に必要不可欠である。一方、食の過剰摂取による弊害が生活習慣病の蔓延によって浮上してきた。食に内在するリスクファクターとそのベネフィットについて考える。	6月1日		小林修平	人間総合科学大学
	8	食とがん	疫学調査において、がんの要因のほぼ30%が食に関連しているとされている。発がんにおける食及び食品成分のリスク管理を考える。	6月8日		津金昌一郎	国立がんセンター
食品規制の体系	9	日本における食品規制の体系(1)	かねてから欧米で言われてきた「農場から食卓まで」の食の安全確保のための枠組みの必要性が問われている。わが国における法体制におけるリスク管理について考える。	6月15日		福富文武	お茶の水女子大学 LWWC
	10	日本における食品規制の体系(2)	健康食品、サプリメント、特定保健用食品等、従来の食品のコンセプトを超える食品に対するリスクアセスメントおよびリスク管理の枠組み作りと法制度について考える。	6月22日		末木一夫	日本国際生命科学協会
企業の品質保証体制	11	安全性確保のための品質保証活動(1)	食品生産から食卓までの食品の流れの過程で、食品に関わるリスクを管理するためにとられる総合的な品質保証システムを紹介する。	6月29日		峯 孝則	サントリー(株)
	12	安全性確保のための品質保証活動(2)	総合的な品質保証システムの中で用いられる、TQC、ISO、HACCP等の様々な有効手法について紹介する。	7月6日			
リスクコミュニケーション	13	食品表示	食品表示は、食品生産者や製造者からの有力なメッセージとして、消費者の購買のための選択、食品についての理解を深める上で有力な手段である。食品表示の現状を解説し、リスク管理における活用を考える。	7月13日		渡辺 寛	ネスレ日本(株)
	14	食におけるリスクコミュニケーション	食の安全、安心のためにとられる有効なリスクコミュニケーションのあり方を考える。	7月20日		唐木英明	東京大学名誉教授
まとめ	15	まとめ:総合討論	本講座を通して学んだ食とリスク管理について、受講者との討論を通して、これからの望ましいリスク管理のあり方を考える。	7月27日		武居綾子/福富文武	(有)イカルス・ジャパン/お茶の水女子大学LWWC